

(質問)

簡単にできる「災害図上訓練」(DIG)とは、どんな訓練ですか。

(回答)

富士常葉大学(静岡県富士市)環境防災学部・講師の小村隆史氏と三重県庁の平野 昌氏が、平成9年、三重県各地の防災ボランティアと共に編み出した簡易型の災害 図上訓練手法。

畳2枚ほどに広げた地図の上に透明のシートをかぶせ、太い油性ペンなどで書き込みをしながら議論するのが特徴。

地域の災害危険度を考えたり、救援計画を立てたりするのに効果的な訓練手法として、近年注目されています。

#### DIGの進め方の一例

- (1) オリエンテーションとグループ分け
- (2) 緊張感の解きほぐしをかねた地図台づくり
- (3) 道路・河川・鉄道・関係施設など「まちのつくり」の確認
- (4) 被害想定の確認と地図への落とし込み
- (5) プレイン・ストーミング(例:わがまちを災害に強くするには、どう変えていけばよいか、等々)
- (6) 議論の経過を相互に報告
- (7) まとめ

#### DIGによって期待できる効果

- (1) 災害の様相をより具体的に認識できる。
- (2) わがまちの災害に対する強さ、弱さがより具体的に認識できる。
- (3) 仲間の輪が広がる。

など

※ 県消防防災課などで指導(アドバイス)できます。

(問い合わせ先)

連絡先	山梨県総務部消防防災課
担当	防災対策担当
電話	055(223)1432
FAX	055(223)1439
E-Mail	<a href="mailto:shobo@pref.yamanashi.jp">shobo@pref.yamanashi.jp</a>